

今後の進め方

鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワークのスケジュール

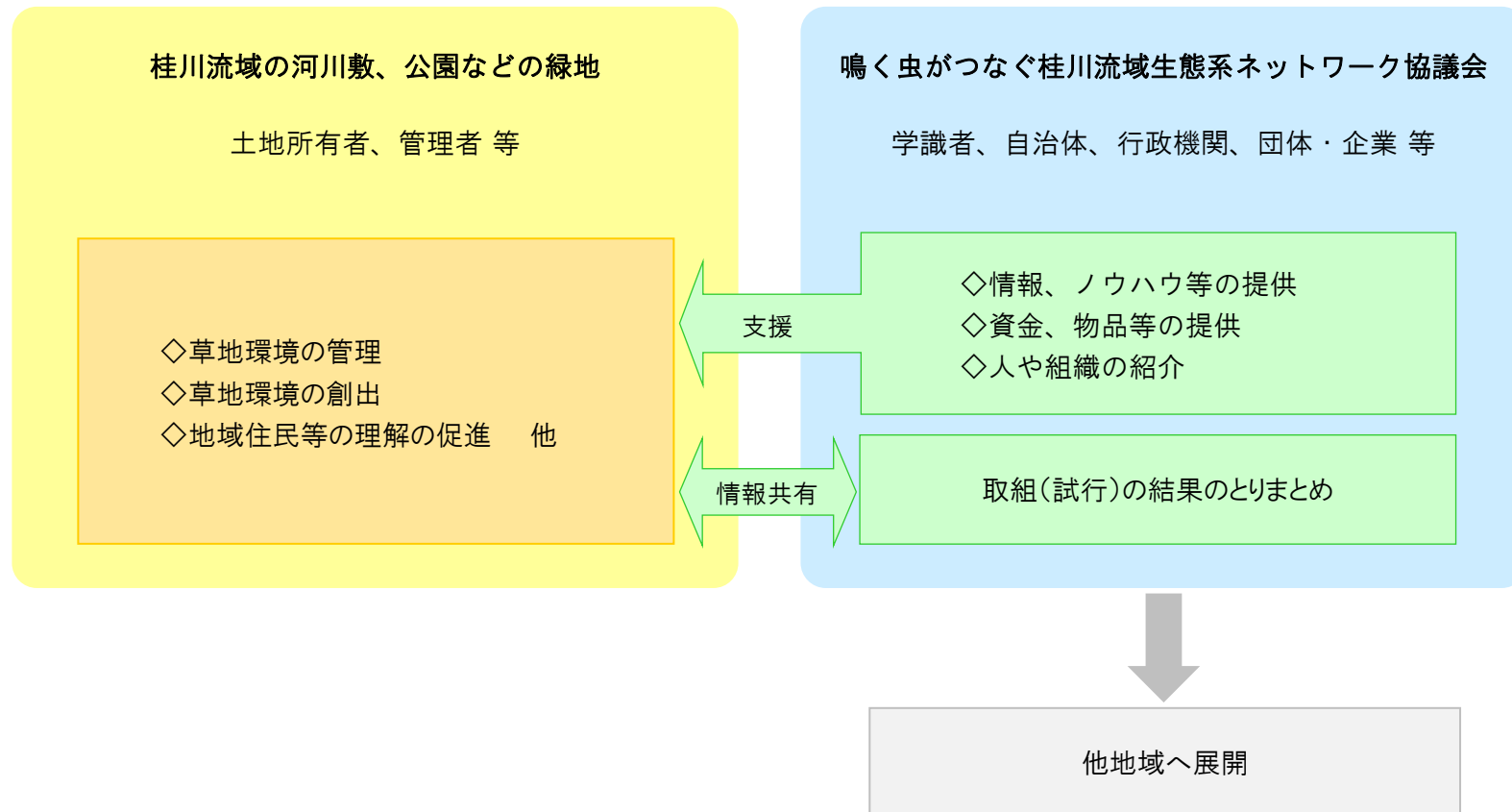
- 2024年度から2026年度にかけて、生態系ネットワーク形成の取組を試行し、その結果を整理して、2027年度以降の展開を検討する。



2025年日本国際博覧会
 （大阪・関西万博）
 2025年4月13日～10月13日

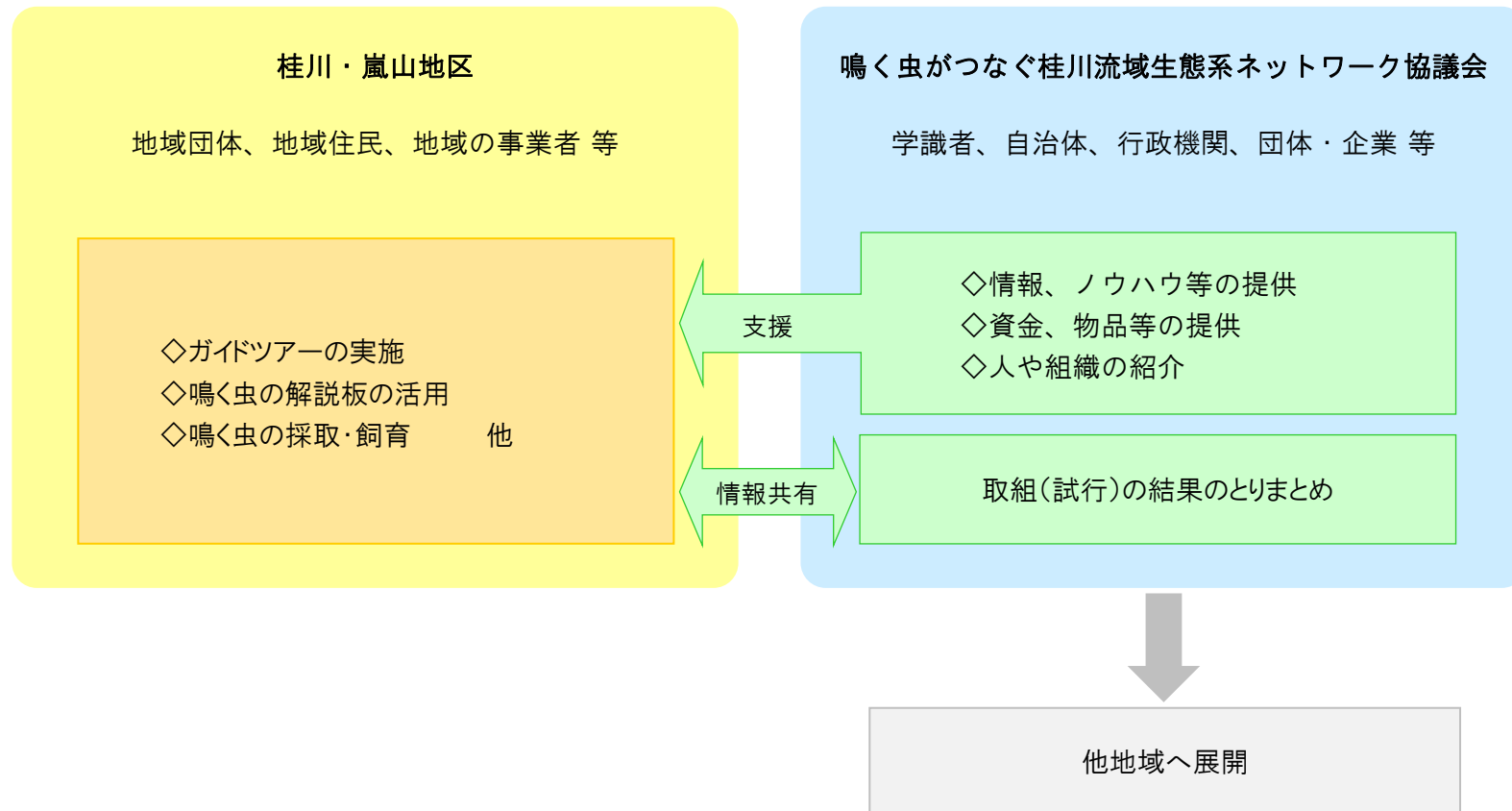
生息環境づくり

- 桂川流域の河川敷、公園などの緑地の土地所有者、管理者等と情報共有を図りながら、土地所有者、管理者等による鳴く虫の生息環境の保全・再生の取組（試行）を、鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会の構成員が支援する。
- 他地域で取り組む場合の参考になるよう、桂川流域の河川敷、公園などの緑地での取組（試行）の結果をとりまとめる。



地域・人づくり

- 桂川・嵐山地区の地域団体等と情報共有を図りながら、地域団体等の自発的な取組（試行）を、鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会の構成員が支援する。
- 他地域で取り組む場合の参考になるよう、桂川・嵐山地区での取組（試行）の結果をとりまとめる。



今後の取組について

- これまでの協議会・ワーキングでの検討、2025年度の取組の試行を踏まえて、下記の項目の検討を行う。

■ 生息環境づくり

手引書の作成	○2025年度のモニタリングや現地確認、「京の虫の音レコーディング2025」の取組の結果をもとに、「鳴く虫の生息に適した草地の管理・創出の手引き(案)」の更新を行う。
市民参加型の取組の試行	○「京の虫の音レコーディング2025」の取組の結果を整理する。2025年度の結果を踏まえ、2026年度の市民参加型の取組の内容を検討し、試行する。
普及啓発・情報発信	○京都市内での催事へのブース出展等により、普及啓発・情報発信を行う。

■ 地域・人づくり

ガイドツアー	○2025年度のガイドツアーの試行結果を踏まえ、「鳴く虫を素材としたガイドツアー実施のためのテキスト(案)」の更新を行う。
ガイドマップの作成	○「鳴く虫ガイドマップ」(日本語表記版、英語表記版)の活用手法を検討し、2026年度に試行する。
外国人旅行者への対応の検討	○留学生へのヒアリングでの意見を踏まえ、外国人旅行者を対象とした場合のガイドツアーについて「鳴く虫を素材としたガイドツアー実施のためのテキスト(案)」に掲載する。
地域住民対象のイベント	○地域の方々との意見交換会での意見を踏まえ、地域の団体、自治会、小学校とも相談しながら、地域住民等を対象としたイベントを検討し、2026年度に試行する。
地域の方々との意見交換	○桂川・嵐山地区の地域の方々と継続的に意見交換を行いながら、イベント等の取組を進める。

■ 共通

企業・団体との連携の検討	○今年度に働きかけた企業との連携を図りつつ、さらに広げるために新たな企業・団体への情報提供を行う。
プラットフォームの検討	○企業・団体等が参画し、生態系ネットワーク形成の取組を推進するプラットフォームを検討する。